

ふるさと
わたしは“白鷹町”で働いています。



丸ト建設株式会社

たくま
大宮 拓真さん（荒砥乙・23歳）

ふるさと白鷹町に貢献したいという思いで、専門学校で建築の基礎を学び弊社に入社しました。担当している業務は住宅の建築を主に、コンクリート打設や内装など総合的に業務を行っています。業務の性質上、危険と隣り合わせのため、まずは安全第一で常に緊張感を持ちながら業務にあたっています。

住宅の施工にあたり、お客様の一生ものを制作していることを心に刻みながら、当たり前のことを徹底し、丁寧な作業を心がけています。完成した住宅などをお客様に喜んでいただけることが仕事のやりがいにもつながり、ものづくりの楽しさも実感しています。

今後は、仕事をできる限り覚えながら、後輩のいい見本となり、頼れる先輩を目指し日々努力して、業務にあたっていきたいと思っています。



最近
は休日の
ラーメン屋
巡りに
ハマって
います！

企業データ

■丸ト建設株式会社（白鷹町大字鮎貝 54）
【事業内容】建築設計施工、一般土木施工、製材業
【従業員数】23人
【問い合わせ】
☎ 85-2515



企業ホームページ



あゆみしる

白鷹町歴史民俗資料館

物 語 つむぐ みんなで

白鷹町大字十王
2558 番地 1
☎ 88-7160
開館日：金・土・日
時 間：9時～17時

11月は「東北文化の日」イベント開催期間。あゆみしるは無料開館しています。「東北文化の日」とは、東北6県と仙台市が一体となって東北の文化を発信し、多くの方にその文化に親しんでいただくことと実施されているものです。「東北文化の日」である10月最終の土日から約1ヶ月間を中心として、博物館・美術館などの無料（割引）展示や、イベントが企画されています。他所の文化を知るほど、郷土の文化の特徴が見えてきます。ぜひこの機会に、東北の特色ある文化に触れてみてはいかがでしょうか。

さて、12月も近づき、年末年始はお餅を食べる機会が増えますね。あゆみしるでは、米をテーマにした企画展を行います。どのような場面で米を食べてきたのか、行事、古文書から見ていきます。また、民具では選別にスポットを当て、粳を玄米にし、粳穀と玄米を分ける方法などを臼や杵、万石通などを使って説明します。

粳をふんだんに使ってできるこの体験展示は、2年間民具を使ったあゆみしるだからこそできることです。新米の美味しい季節、昔のお米についてご覧ください。

◆企画展

開 期：12月9日（金）～3月12日（日）
入館料：一般 200 円、中学生以下無料



「米通帳」教委蔵

令和3年度は、このように
お金が使われました！



歳出を町民一人あたりでみると

総額 74 万 7,795 円 (前年比 ▲ 2 万 1,497 円)

※町民一人あたりの金額は、令和4年3月31日現在の町の住民基本台帳人口 1 万 2,923 人で割ったものです。

民生費 使われたお金…22億7,652万円

子育て支援として町独自の第3子以降の保育料、副食費無償化による子育て環境の充実を図ったほか、令和4年度からの全世代での保育料無償化に向け、条例改正及び制度の周知等に取り組みました。また高齢者福祉事業として地域住民が主体となり地域課題等の解決に結びつけるための仕組みづくりの支援や障がい福祉サービスの提供などを行いました。



総務費 使われたお金…12億6,930万円

地区コミュニティセンターを核とした地域づくりの支援やデマンドタクシーの公立置賜総合病院までの町外延伸便と荒砥・鮎貝市街地の循環便を組み合わせた新たな実証実験など、より暮らしやすいまちづくりを進めました。また、デジタル化・オンライン化に対応するため「白鷹町ICT推進方針」を策定しました。



土木費 使われたお金…10億7,016万円

町道や橋梁の長寿命化工事や河川の支障木の撤去など重要インフラの安全確保を行うとともに、定住促進・転出抑制に向けた対策を強化するため新たな子育て支援住宅の整備(4棟)を行いました。



公債費 使われたお金…10億6,242万円

建設事業などを行うために借り入れたお金の返済を行いました。

衛生費 使われたお金…8億5,749万円

新型コロナウイルスワクチン接種の実施や健康寿命の延伸にむけた健康診査の受診率向上へ取り組んだほか、母子保健事業において3歳児を対象とした眼科健診を実施し、お子さんの弱視等の眼科異常の早期発見を図るなど新たな取組を行いました。また、地球温暖化防止の取組として脱炭素社会の実現に向けた「ゼロカーボンシティ宣言」を行い2050年二酸化炭素排出量実質ゼロに取り組むことを表明しました。



災害復旧費 使われたお金…7億3,960万円

令和2年7月豪雨災害により被災した道路や河川などの復旧工事を行いました。

教育費 使われたお金…7億3,373万円

ICT支援員の配置による授業支援などデジタル学習環境の充実を図るほか、老朽化した学校施設の改修等を行いました。また、歴史民俗資料館「あゆみしる」をプレオープンするなど生涯学習、文化振興に取り組みました。



農林水産業費 使われたお金…6億2,744万円

コロナ禍における米価の大幅下落対応として、稲作農家の次期作へ対する緊急支援を実施したほか、農家所得の向上を目的とした産地づくりの推進、増加する有害鳥獣被害対策としてデジタル技術を活用した捕獲罠の設置などの支援を行いました。また、木材利用の拡大に向け、取組の指針となる「白鷹町森林とつながる暮らしビジョン」等の計画づくりに取り組みました。



商工費 使われたお金…4億7,249万円

コロナ禍における経済対策として全町民への地域応援券の配布や飲食店のテイクアウト等に対する助成、事業継続に係る支援を行いました。また中山地区に約1haの大紅花畑を整備し、更なる紅花の生産振興と観光振興に取り組みました。

消防費 使われたお金…4億2,431万円

消防団員の報酬引き上げ等による処遇改善や、副団長を2名体制にするなど組織強化を行ったほか、自主防災組織を対象に防災訓練等に対する支援を行いました。



その他 使われたお金…1億3,031万円

企業における従業員の正社員化に向けた支援を行ったほか、議会運営に必要な経費を支出しました。